

## 富山湾漁況・海況概報

(NO. 6-10)

富山県農林水産総合技術センター  
水産研究所：TEL(076)475-0036

## 1. 令和6年12月の漁況

水産研究所が県下市場から収集した令和6年12月の県内の総漁獲量は1,706トンで、前年(1,522トン)をやや上回り、平年(過去10年平均：2,019トン)をやや下回った。

## 2. 12月の主な魚種別漁況(表1参照)

アジ：全市場合計漁獲量は794トンで平年(過去10年平均：206トン)をかなり上回った。

市場別漁獲量はとやま市316トン、魚津201トン、氷見173トン。

ブリ：全市場合計漁獲量は160トンで平年(過去10年平均：57トン)をかなり上回った。

市場別漁獲量は氷見150トン、新湊8トン、魚津2トン。

サバ：全市場合計漁獲量は117トンで平年(過去10年平均：315トン)をかなり下回った。

市場別漁獲量は氷見53トン、魚津34トン、とやま市16トン。

フクラギ：全市場合計漁獲量は111トンで平年(過去10年平均：158トン)を下回った。

市場別漁獲量は新湊48トン、氷見28トン、魚津18トン。

ヒラマサ：全市場合計漁獲量は101トンで平年(過去10年平均：28トン)をかなり上回った。

市場別漁獲量は氷見35トン、新湊27トン、魚津25トン。

ソウダガツオ：全市場合計漁獲量は77トンで平年(過去10年平均：312トン)をかなり下回った。

市場別漁獲量は新湊39トン、氷見28トン、とやま市5トン。

カワハギ類：全市場合計漁獲量は39トンで平年(過去10年平均：57トン)を下回った。主にカワハギが漁獲された。市場別漁獲量は新湊16トン、氷見10トン、魚津8トン。

ベニズワイ：全市場合計漁獲量は30トンで平年(過去10年平均：58トン)を下回った。

市場別漁獲量は魚津14トン、滑川9トン、新湊5トン。

カマス：全市場合計漁獲量は23トンで平年(過去10年平均：65トン)をかなり下回った。

市場別漁獲量は氷見11トン、新湊9トン、とやま市2トン。

表1 令和6年12月の主な魚種別漁獲量

(単位：トン)

魚種	漁法	令和6年12月				前年 月計	前月 月計	平年比 (%)
		上旬	中旬	下旬	月計			
アジ	定	444	336	14	794	68	90	386
ブリ	定	53	48	58	160	73	144	279
サバ	定	36	78	3	117	21	92	37
フクラギ	定	6	54	50	111	91	18	70
ヒラマサ	定	40	44	16	101	32	74	353
ソウダガツオ	定	26	28	22	77	178	63	25
カワハギ類	定	13	14	13	39	23	42	69
ベニズワイ	漁	4	13	13	30	33	33	51
カマス	定	11	5	7	23	11	49	35
アオリイカ	定	11	7	4	22	54	36	71
小計		644	628	201	1,473	582	641	
その他		66	84	83	233	939	267	
合計		710	712	284	1,706	1,522	908	85

注：単位未満は四捨五入したため、月計と各旬の合計値が一致しない場合がある。

定：定置網、漁：漁船漁業

※ 参考	かなり上(下)回る：+51%以上	上(下)回る：+50%~+21%
	やや上(下)回る：+20%~+6%	平年並み：+5%以内

### 3. 令和6年（2024年）1月～12月の漁況（まとめ）

#### ・漁業種類別漁獲量（図1）

水産研究所が県下市場から収集した令和6年（2024年）の県内総漁獲量は20,803トンで、前年（19,240トン）をやや上回り、平年（過去10年平均：19,715トン）もやや上回った。漁業種類別漁獲量は、定置漁業が19,732トン（平年比111%）、漁船漁業等が1,071トン（平年比55%）であった。

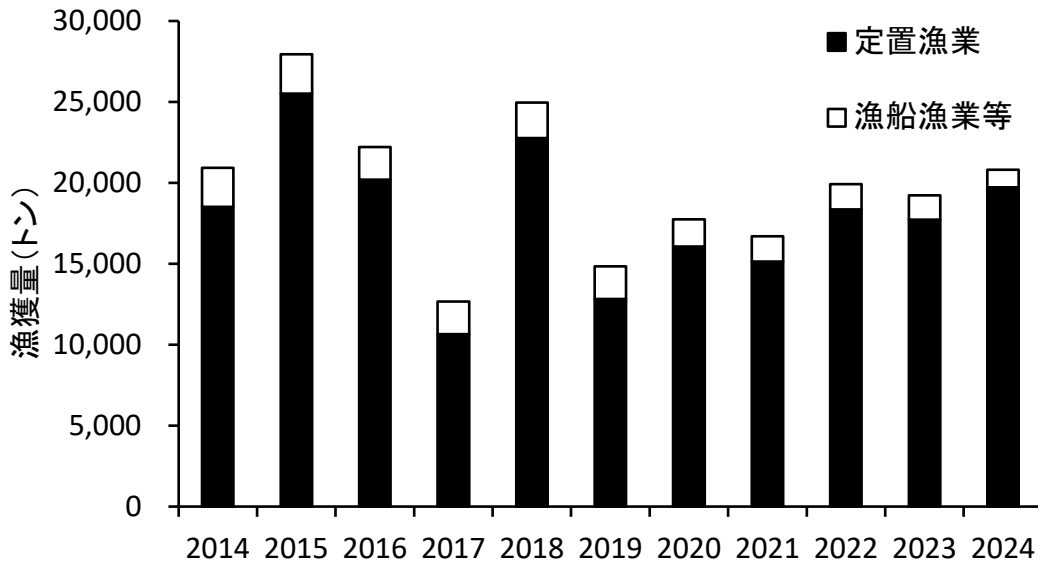


図1 漁業種類別漁獲量の推移

#### ・魚種別漁獲量（図2および表2）

主要魚種の令和6年漁獲量を平年（過去10年平均）と比較し、図2および表2に示した。

令和6年に最も多く漁獲されたのはマイワシ（6,804トン）であり、次いでホタルイカ（4,088トン）、サバ（1,455トン）、アジ（1,175トン）、スルメイカ（977トン）の順であった。

漁獲量が平年をかなり上回った魚種はホタルイカ（平年比324%）、ブリ（平年比262%）、ヒラマサ（344%）などであった。一方、漁獲量が平年をかなり下回った魚種はシロエビ（平年比37%）、カワハギ類（平年比33%）、カタクチイワシ（平年比18%）などであった。

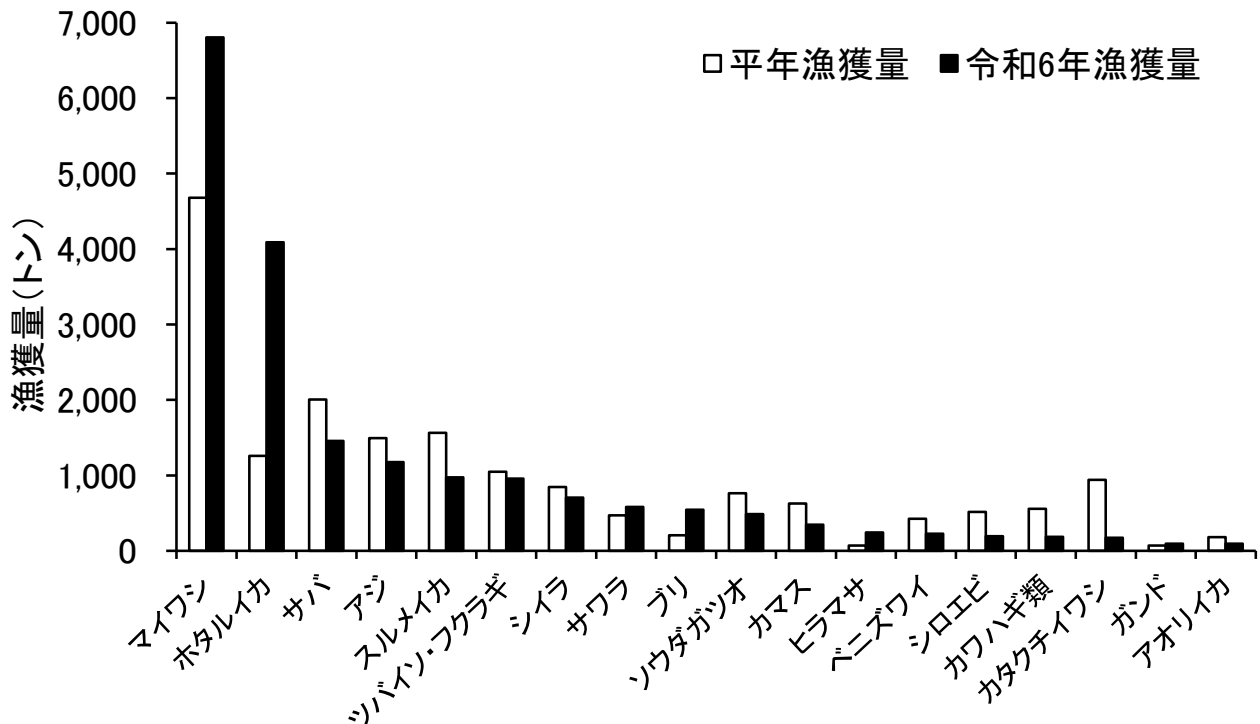


図2 魚種別漁獲量(令和6年と平年の比較)

表2 主要魚種の漁獲量(水産研究所調べ、漁獲量の単位はトン、平年値は過去10年の平均)

魚種	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	平年	2024年	平年比
マイワシ	445	6,163	8,173	62	11,511	2,580	4,176	4,187	4,263	5,228	4,679	<b>6,804</b>	145%
ホタルイカ	1,717	1,476	1,194	1,299	689	437	1,885	1,397	2,101	418	1,261	<b>4,088</b>	324%
サバ	3,132	3,838	635	800	1,253	1,046	759	790	4,342	3,464	2,006	<b>1,455</b>	73%
アジ	2,494	2,520	2,068	1,636	1,348	1,166	1,180	1,040	988	509	1,495	<b>1,175</b>	79%
スルメイカ	2,168	1,932	1,027	950	2,534	1,413	1,792	1,474	1,396	961	1,565	<b>977</b>	62%
ツバイツ・フクラギ	1,440	1,009	1,421	1,461	717	1,026	683	612	754	1,371	1,049	<b>956</b>	91%
シイラ	270	634	848	454	561	422	748	1,401	685	2,454	848	<b>707</b>	83%
サワラ	332	981	799	322	269	482	495	516	251	262	471	<b>581</b>	123%
ブリ	114	174	104	144	219	235	338	105	282	363	208	<b>544</b>	262%
ソウダガツオ	488	2,095	744	755	1,248	550	327	380	419	613	762	<b>488</b>	64%
カマス	733	1,679	640	620	307	407	554	653	309	371	627	<b>345</b>	55%
ヒラマサ	56	69	44	11	62	246	66	41	43	73	71	<b>244</b>	344%
ベニズワイ	568	490	437	460	445	477	396	374	319	287	425	<b>230</b>	54%
シロエビ	452	389	440	473	571	670	511	522	593	551	517	<b>193</b>	37%
カワハギ類	968	437	640	624	872	341	492	685	350	155	556	<b>185</b>	33%
カタクチイワシ	2,631	1,377	454	256	326	1,286	1,545	639	788	127	943	<b>173</b>	18%
ガンド	72	88	161	94	48	25	32	64	56	67	71	<b>96</b>	136%
アオリイカ	276	172	215	145	197	185	222	126	153	137	183	<b>95</b>	52%
マダイ	129	91	87	126	123	71	65	66	114	72	94	<b>89</b>	95%
ハチメ類	16	40	40	25	73	22	32	20	69	80	42	<b>74</b>	178%
メジ・シビコ	104	28	66	65	47	85	36	140	58	132	76	<b>69</b>	91%
フグ類	162	155	107	230	98	110	72	115	307	112	147	<b>61</b>	42%
ヒラメ	110	130	105	90	82	90	86	57	46	44	84	<b>59</b>	71%
ホッコクアカエビ	88	93	87	80	84	86	88	83	86	76	85	<b>59</b>	69%
ウルメイワシ	196	252	169	99	30	155	105	85	99	142	133	<b>59</b>	44%
メジナ	76	59	57	37	35	34	47	46	40	55	49	<b>57</b>	117%
スズキ	26	25	28	49	41	33	18	19	27	35	30	<b>43</b>	141%
ヤリイカ	74	71	51	23	27	58	37	46	48	25	46	<b>23</b>	50%
クロダイ	22	19	18	26	22	21	19	21	22	32	22	<b>21</b>	96%
マグロ	4	5	3	8	5	6	3	11	6	7	6	<b>17</b>	288%
ニギス	21	20	11	10	7	10	11	5	5	16	12	<b>14</b>	123%
メダイ	31	12	7	12	7	16	14	18	21	16	15	<b>10</b>	66%
タチウオ	29	32	45	19	34	39	38	78	42	25	38	<b>10</b>	26%
マダラ	27	21	26	22	15	15	15	11	9	8	17	<b>8</b>	49%
サケ	127	155	43	34	15	12	17	9	7	4	42	<b>3</b>	8%
サヨリ	3	4	3	1	2	4	2	2	6	9	3	<b>3</b>	89%
ソデイカ	17	1	31	12	56	16	4	5	2	3	15	<b>3</b>	18%
スケトウダラ	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	<b>1</b>	103%
イボダイ	4	0	2	1	0	0	3	4	1	0	2	<b>0</b>	26%
沖合スルメイカ	8	0	1	0	6	0	4	0	0	0	2	<b>0</b>	0%
漁獲量総計	20,929	27,939	22,222	12,667	24,944	14,839	17,753	16,700	19,913	19,240	19,715	<b>20,803</b>	106%

#### 4. 海洋観測結果

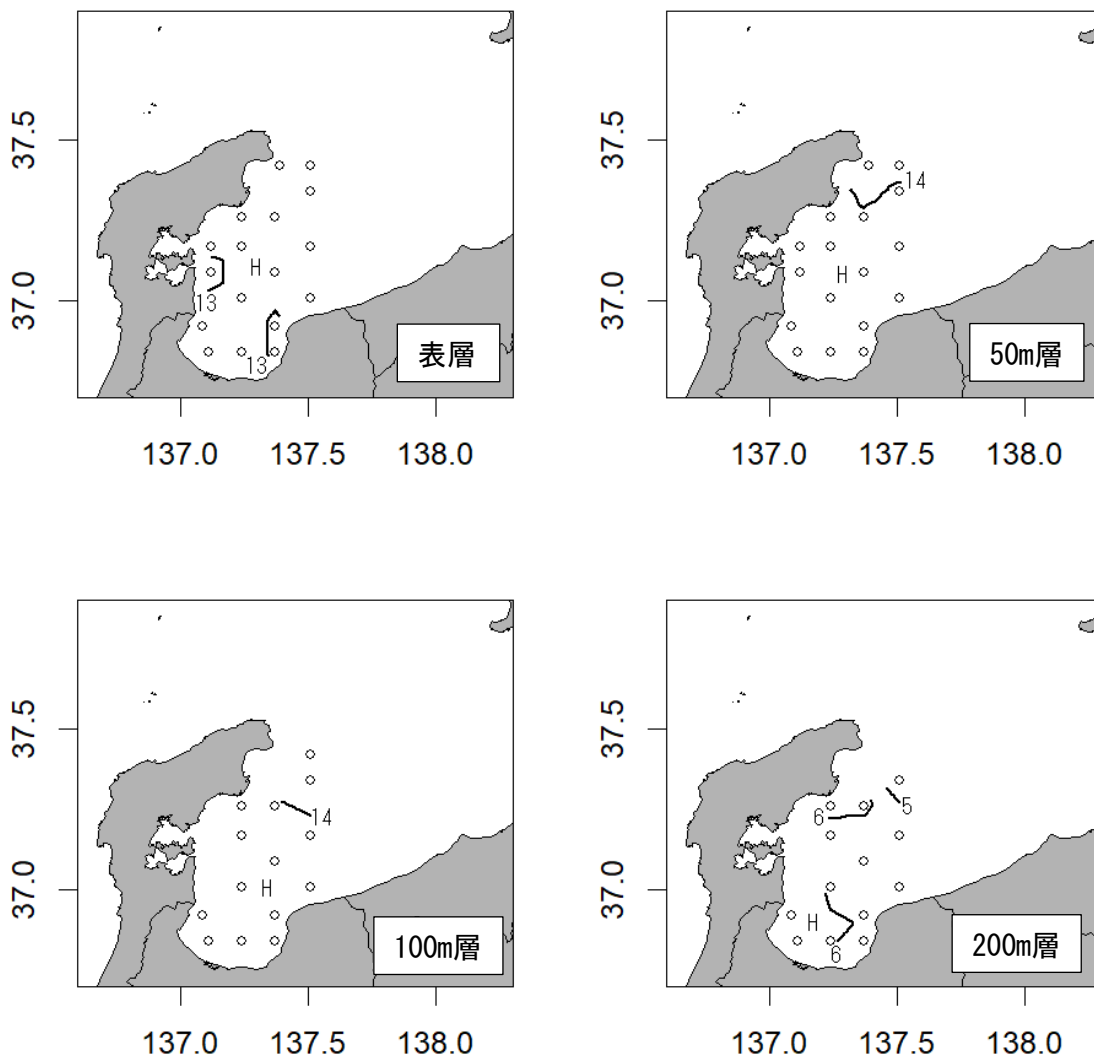
令和7年1月期の海洋観測を1月6日～7日に実施した。今回観測した水深別の湾内17定点の平均水温、これらの平年差、評価及び前月差は表3のとおりであった。また、観測域の表層、水深50m層、100m層および200m層における水温水平分布は図3のとおりであった。

観測定点の水温の範囲は、表層で12～13℃台、50m層で13～14℃台、100m層で13～14℃台、200m層で4～6℃台であった。なお、昨年同期の湾内17定点の平均水温との差は、表層で-0.84℃、50m層で-1.20℃、100m層で-0.94℃、200m層で-1.67℃であった。

水深(m)	0	10	20	30	50	75	100	150	200	300
水温値	13.44	14.12	14.13	14.13	14.21	14.22	14.22	13.72	5.77	1.42
平年差	+0.08	+0.30	+0.23	+0.21	+0.28	+0.31	+0.34	+1.78	0.00	-0.18
評価	←----- -----> 平年並み							←----- -----> やや高い	←----- -----> 平年並み	
前月差	-2.25	-2.40	-2.44	-2.45	-2.37	-2.41	-2.69	+4.11	+2.11	+0.09

“平年並み” …約2年に1回の出現確率      “かなり高(低)い” …約10年に1回の出現確率  
 “やや高(低)い” …約4年に1回の出現確率      “はなはだ高(低)い” …約20年以上に1回の出現確率

図3 水温水平分布



## 5. 2024年の富山湾の水温(まとめ)

2024年1月から12月の富山湾の表層、水深50m層、100m層および200m層の水温(湾内17定点の平均値)の推移を図4に、これらの水温の平年値(過去30年間の平均値)との差を図5に示した。

1月から12月の表層の水温は10.59℃(3月)~28.24℃(9月)で、平年差は-1.19℃(6、12月)~+1.97℃(10月)であった。50m層の水温は10.48℃(4、5月)~23.34℃(8月)で、平年差は-2.35℃(10月)~+2.68℃(8月)であった。100m層の水温は10.22℃(5月)~16.91℃(12月)で、平年差は-2.40℃(11月)~+1.29℃(1月)であった。200m層の水温は3.20℃(10月)~8.52℃(7月)で、平年差は-2.99℃(8月)~+1.67℃(1月)であった。

0mの水温は、かなり低め~かなり高めであった。50mは1、8月にはなはだ高めとなり、1月は過去(1953年以降)最高であった。100mは1月にかなり高めとなり、過去最高であった。200mは8月にはなはだ低め、3、5、10月にかなり低めとなり、5月は過去最低であった。

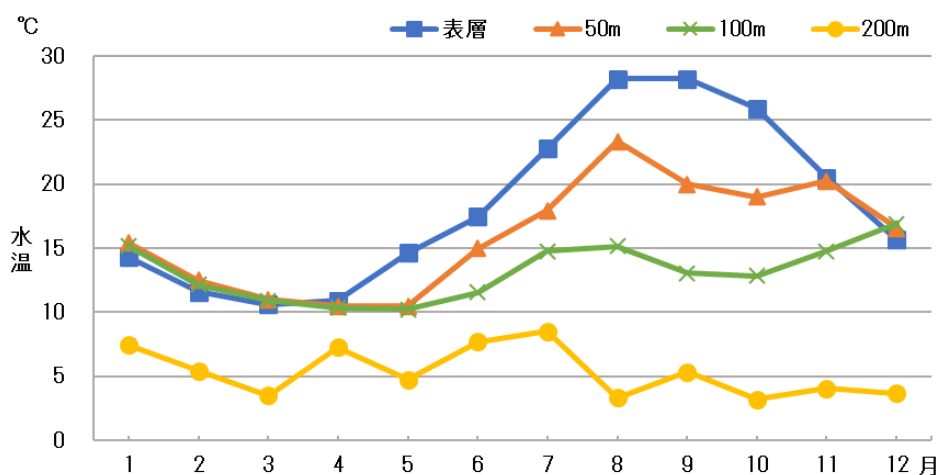


図4 2024年における富山湾周辺17定点平均水温の推移

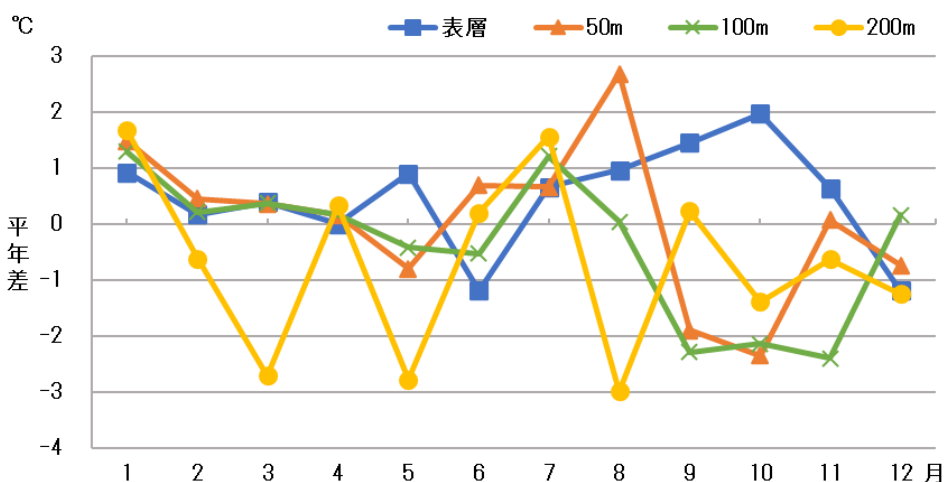


図5 2024年における富山湾周辺17定点平均水温の平年差の推移